

目 次

概要	2
決算特別委員会	3～5
代表・一般質問	6～11
委員会の活動記録	12・13
審議結果、請願、意見書	14・15
お知らせ	16

No.248
2025年(令和7年)11月15日

令和7年 第3回定例会

令和7年9月11日～10月9日

みなと 区議会だより

令和6年度一般会計ほか各会計決算を認定

「固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書」
を提出しました



港区議会

〒105-8511 港区芝公園1-5-25
電話 03-3578-2920 FAX 03-3578-2932

○ホームページ

<https://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

○フェイスブック

<https://www.facebook.com/minatokugikai/>



●表紙の写真●

第20回港区観光フォトコンテスト入賞作品

作品名「カメラに興味津々」

(神宮外苑いちょう並木)

山本 峰子 さん

表紙をあなたの写真で飾りませんか?

【写真のテーマ】私が好きな港区の風景

(発行月の季節にあった風景)

詳しい応募方法は、港区議会ホームページをご覧いただかずか、担当へお問い合わせください。

問い合わせ

区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

会議日程

令和7年第3回定例会 会議日程

- ◇ 9月11日… 議会運営委員会・本会議
会期決定 諸報告
代表・一般質問 4名
- 12日… 本会議・議会運営委員会
代表・一般質問 9名
議案等付託
決算特別委員会の設置
- 17日… 4常任委員会
議案・請願等の審査
- 18日… 総務常任委員会
議案・請願等の審査
- 9月24日～26日、29日、30日
… 決算特別委員会
決算4案の審査

- 10月1日～3日、7日
… 決算特別委員会
決算4案の審査
- 8日… 4常任・6特別委員会
委員長報告・中間報告等
- 9日… 議会運営委員会・本会議
議案等の議決



定例会の概要

令和7年第3回定例会は、9月11日から10月9日までの29日間にわたって開会されました。初日の11日と12日は、区長、教育長、選挙管理委員会委員長及び議長に対して、計13名の議員から代表・一般質問が行われました。

区長から提出された案件は、審議した結果、条例改正・補正予算など9件を原案どおり可決・承認、1件を継続審査とし、決算4案を認定しました。

そのほか、追加提出された人事案件は、港区副区長の選任及び港区教育委員会教育長の任命について、それぞれ同意しました。

皆さんから提出された請願は1件を採択、2件を不採択、

10件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書1件を可決しました。



決算特別委員会の概要

9月12日の本会議において、全議員32名で構成する「令和6年度決算特別委員会」（なかまえ由紀委員長、鈴木たかや副委員長、丸山たかのり副委員長）を設置し、9月24日から10月7日まで審査が行われました。

10月7日の決算特別委員会最終日において、令和6年度各会計（一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計）歳入歳出決算4案に対して態度表明を行い、引き続き採決しました。採決した結果、決算4案のうち、一般会計が全会一致、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計及び介護保険会計が賛成多数で認定されました。

その後、10月9日の本会議において、決算4案は1件が全会一致、3件が賛成多数で認定されました。



令和6年度各会計決算の概要

会計別	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
一般会計	2,041 億 6,786 万 73 円	1,890 億 5,479 万 5,859 円	151 億 1,306 万 4,214 円
国民健康保険事業会計	254 億 6,579 万 8,796 円	249 億 222 万 2,880 円	5 億 6,357 万 5,916 円
後期高齢者医療会計	72 億 7,855 万 8,316 円	71 億 7,803 万 4,355 円	1 億 52 万 3,961 円
介護保険会計	188 億 3,710 万 7,099 円	181 億 8,671 万 4,348 円	6 億 5,039 万 2,751 円
総計	2,557 億 4,932 万 4,284 円	2,393 億 2,176 万 7,442 円	164 億 2,755 万 6,842 円

監査委員の審査意見（要旨）

一般会計及び3つの特別会計は、いずれも適正に運営され、各財政指標も良好な数値を示しており、財政状況は安定したものと認められる。

区の財政状況について、歳入は区財政の根幹をなす特別区民税の収入済額が、前年度と比較して 19.6% 増加した。歳出は、執行率が 94.6% で、前年度を 0.2 ポイント

下回った。引き続き、予算の適正な配分・管理を徹底されたい。

今後も引き続き、いかなる社会経済情勢等の変化にも柔軟に対応し、「最小の経費で最大の効果」を実現するよう努め、創意工夫を凝らした弾力的な財政運営が図られることを期待する。

令和6年度決算に対する 各会派の態度表明

◆◆ ◆◆ **自民党議員団** ◆◆ ◆◆

決算特別委員会で自民党会派より投げかけた質問及び提案要望が、今後の事業実績と来年度予算の編成に大いに反映されることを期待し、決算4案を認定する。

◆◆ ◆◆ **みなど未来会議** ◆◆ ◆◆

行政需要の多様化や物価高などさまざまな課題に対し、柔軟な区政運営を求める。今後も機動的な支援の継続と拡充を求めるとともに、我が会派の要望が来年度予算に反映されることを強く期待し、決算4案を認定する。

◆◆ ◆◆ **港区保守系議員団** ◆◆ ◆◆

営利団体に対して区有地を約50年間無償で貸し与し続けている件や平和都市宣言についての意見は合わなかったが、多くの事業が我々のこれまでの主張と一致しており、多くの点で前向きな対応をいただいたことを評価し決算4案を認定する。

◆◆ ◆◆ **公明党議員団** ◆◆ ◆◆

決算審議の中で、我が会派として述べた意見、要望、提案、そして指摘について、来年度の予算に反映されることを強く要望し、令和6年度決算4案については、いずれも認定する。

◆◆ ◆◆ **立憲民主党議員団** ◆◆ ◆◆

約2400億円もの基金を、社会問題の解決に、区民生活に、未来への投資に有効に使う必要がある。生活困窮している世帯や悩みを抱えている区民に寄り添った区政運営を目指すべきとし、決算4案は認定する。

◆◆ ◆◆ **共産党議員団** ◆◆ ◆◆

平和「港区平和都市宣言」を守り、基地の撤去に粘り強く取り組むなど平和への姿勢は評価できる。一般会計決算は認定する。国保会計、後期高齢者医療会計、介護保険会計は、区民の暮らしを守れないため認定しない。

◆◆ ◆◆ **港区れいわ新選組** ◆◆ ◆◆

物価高騰の影響が収まる気配がない状況下で、区民への継続的な支援が求められる。本委員会での質疑が、令和8年度の予算編成に反映されることを要望し、令和6年度決算4案は、いずれも認定する。

◆◆ ◆◆ **都民ファーストの会** ◆◆ ◆◆

子育て支援の充実や福祉職の待遇改善、人的資本への投資を求め、政策の継承と改革を両立し、より区民に資する施策の推進と港区政のさらなる発展を期待し、令和6年度決算を認定する。

◆◆ ◆◆ **小倉 りえこ** ◆◆ ◆◆

決算の判断は、過去への賛辞でも現状の追認でもなく、未来への信任であるべきと考える。決算4案については区の健全な財政運営及びこれまでの議論を通じて見えた改善の方向性を確認し、認定とする。

決算特別委員会

～各会派の質問・要望事項～

※「国民健康保険事業会計」の表記は「国保会計」で統一しています。

※「介護保険会計」の表記は「介護会計」で統一しています。



※質問・要望事項は要約して掲載しています。詳しくは、左の二次元コードを読み取り「動画配信」をご覧ください。

自民党議員団

総務費 ◆区役所改革◆区政運営や MINATO ビジョン◆公約と区政の信頼性◆行政サービス◆電子申請添付ファイル◆補正予算の在り方◆避難所の炊き出し食材の確保◆文化芸術活動支援事業◆行政不服審査審理員◆都市養蜂◆港区コミュニティラジオ◆赤坂青山親善大使◆夏期行事熱射対策◆家具転倒防止器具◆投票率向上と投票所増設◆二次避難所◆ペット同行避難◆町会防災倉庫・自治会の支援◆消防団活動補助金◆災対者住宅確保◆危機管理災害対応◆国際連携の戦略性◆大使館連携◆ふるさと納税◆職員表彰制度の創設◆Minato City Wi-Fi

環境清掃費 ◆住環境維持対策◆温暖化対策◆家庭用廃油の回収拠点◆家具のリサイクル◆みなと区民の森のビジョン◆J-クレジット制度の活用検討◆あきる野環境学習事業◆森林整備木材と環境学習◆ウォーターサーバーの設置◆使用済み電池回収◆公道カートの届出制

民生費 ◆路上生活者の自立支援◆老人クラブ等の支援◆子ども家庭支援センター児童相談所◆高齢者支援と施設整備◆台場の複合施設開設に向けて◆保育料◆保育園の園庭◆高校生世帯の支援◆ひとり親家庭への支援◆高齢者のさらなる支援と施設◆QODとエンディングノート活用

衛生費 ◆インフルエンザワクチン接種助成◆備蓄医薬品◆子育てあんしんプロジェクト◆住宅宿泊事業の運営

産業経済費 ◆区商連賛助会員の会費◆物価高対策と支援◆商店の支援◆区民向け観光施策◆公園・児童遊園管理◆フラクタル日除け導入◆レインボーバス田町経由増便◆コミュニティバス乗車券 IC カード化◆公衆トイレの小便器の高さ◆定住と住宅取得支援◆賃貸住宅住人向け支援◆公園の遮熱対策及び冷却設備◆白金エリアのちいばす新ルート◆三光坂下郵便ポスト◆駅周辺案内板の改修◆建築物の耐震化支援

教育費 ◆交通安全教育◆GPS 見守り端末貸与◆夜間施設開放◆屋外プール水泳指導の機会喪失◆特別支援学級の教室確保◆お台場学園の通称名と条例名◆港区奨学資金◆移動教室・夏季学園の在り方◆学校の二重国籍の対応◆運動能力とスポーツ施策◆社会参画と学び◆セーフスイム教育◆区刊行物の電子図書館掲載◆公立学校の災害対策

総括質問 ◆人口減少と地価高騰◆補正予算の信頼確保◆公契約条例の制定◆MINATO ビジョン基本構想◆自治体首長の資質◆公約進捗と区政信頼性◆神宮外苑再開発事業の区長姿勢◆GX 推進とJ-クレジット創出とみなと区民の森活用◆カルガモ巣場所◆地下施設の浸水対策◆下水道管の老朽化と道路陥没対策◆みなとク PAY の店舗拡大経済支援◆物価高騰の区民や中小企業支援策◆内発型観光への転換◆羽田新飛行経路固定化回避と区長公約◆少子化対策とこどもまんなか宣言の欠落点、児童虐待根絶と体制強化◆ひとり親支援実態◆高校生への経済的支援◆高校生の留学支援◆国際プログラム導入の公立中高一貫◆インターの子ども支援

みなと未来会議

歳入 ◆海外に出国した滞納者について

議会費 ◆議会選出監査委員について

総務費 ◆投票環境の拡充◆指定管理について◆EBPM の推進を◆行政が利用した PC のリユースを

環境清掃費 ◆熱中症対策を◆ごみ箱の新規設置と IoT ゴミ箱等の増設を◆みなと区民の森のさらなる活用を

民生費 ◆学童クラブでの電子レンジ設置を◆屋内遊び場の拡充を◆ラクッチャの利用率向上を◆病児・病後児保育の拡充を◆柔軟な保育体制を◆産前・産後支援の拡充を◆不適切保育防止を◆青山スクウェアについて◆福祉施設の基本協定について◆障がい児支援の所得制限撤廃を

衛生費 ◆産婦人科・小児科オンライン相談導入を◆インフルエンザワクチン助成の拡充を◆自殺対策について

産業経済費 ◆地域経済のさらなる活性化を◆ふるさと納税返礼品の拡充を

土木費 ◆チャイルドシート付き自転車のシェアサイクルを◆田町駅の通行不便の解消を◆不法占用建築物等の管理について

教育費 ◆モーニングスクールの拡充を◆区立幼稚園の預かり時間延長を◆共働きを前提とした学校運営を◆教育委員会と保育課の連携を◆学用品の無償化について◆保育園や幼稚園への防犯カメラ設置を◆海外修学旅行について

総括質問 ◆財政運営について◆総合支所制度に関する評価と今後について◆町会・自治会の支援を◆投機的な不動産購入に規制を◆富士山噴火時の対策を◆ベンチャー企業の支援を◆外国人への行政手続きサポートについて◆いじめの防止について◆区の情報管理について◆区有保養施設へのペット同行について

港区保守系議員団

- 議会費** ◆広報の在り方◆区議会だより表紙写真選定
総務費 ◆時代に即した町会・自治会の支援を◆麻布地区地域事業活性化◆区職員の国籍要件撤廃反対◆港区平和都市宣言の矛盾◆本庁舎血压計再設置◆防犯カメラ設置補助の拡充◆リーブラ相談事業推進◆防災協定◆防災船着場◆マンション防災◆地域資源の防災活用◆港区政 80 周年記念事業◆言論の自由◆MINATO ビジョン◆港区の施設利用
環境清掃費 ◆森林環境税等に係る取組◆粗大ごみ申請簡素化
民生費 ◆介護美容事業◆高齢者施設での耳つぼジュエリー導入◆スケッターの運用◆高齢者福祉の向上◆保育園の弱視検

診推進◆成年後見制度の問題点

- 衛生費** ◆LAB LEAKを感染症対策の参考にすること◆3歳児健診の受診率向上
産業経済費 ◆みなトク PAY 拡充に商店会新設支援◆ワールドプロモーション
土木費 ◆鹿島橋傍の土地無償貸付の是非◆町会館を撤去し更地にするよう求めている点
教育費 ◆区立幼稚園の支援拡充◆未就学児のいじめ問題◆共同親権導入に向けた対応◆学校職員のハラスマント対策◆中学生の地域参加◆学校で使用するタブレットの使用制限◆教育と給食を通じた農林水産業の振興の促進
総括質問 ◆マンション政策の一元化◆全会一致について◆スクールドッグ導入へ◆こどもまんなか宣言

公明党議員団

- 総務費** ◆町会等補助金について◆防災対策が不十分なマンションへの相談支援について◆地域防災での女性の活躍の推進について◆災害用トイレの取組について
環境清掃費 ◆衣料リユース事業について◆災害時の使用済携帯トイレについて
民生費 ◆ケアリーバー支援について◆高齢者の熱中症対策について◆訪問介護事業者への支援について◆介護予防のためのアプリポイントの活用について◆児童虐待防止のための前向き子育てプログラムについて◆障がい児・者の居場所の充実に

ついで◆障がい児・者へのおむつ給付について◆カームダウン・クールダウンスペースについて

- 衛生費** ◆健康施策と地域通貨連携◆骨粗鬆症について
産業経済費 ◆地域通貨みなトク PAY について◆町会イベントでのみなトク PAY の決済活用について
土木費 ◆児童遊園内の防災倉庫について◆地域公共交通について
教育費 ◆子どもの意見を反映する予算の確保について◆宿題の考え方について◆学校説明会の情報提供について◆スマホ及びタブレット端末利用の家庭ルールについて

立憲民主党議員団

- 総務費** ◆災害に備え区の体制強化を◆リーブラの運営と事業について◆港区平和都市宣言 40 周年事業について
環境清掃費 ◆運河の悪臭改善を◆鳩の餌やりについて
民生費 ◆長期休みに学童クラブの受入れを◆ひとり親へ支

援の拡大を◆高齢者会食サービスの復活を

- 衛生費** ◆令和 7 年度配置された動物政策監の取組について
産業経済費 ◆商品券とみなトク PAY について
教育費 ◆区民がより参加しやすい MINATO シティハーフマラソンに◆東京 2025 デフリンピックの周知啓発を◆海外修学旅行と平和教育について

共産党議員団

- 総務費** ◆広島派遣の継続を◆障害者雇用の工賃アップ
環境清掃費 ◆清掃・美化活動に感謝の意を示すこと
民生費 ◆公的保育を守り延長保育料も無償化すること
土木費 ◆赤羽橋駅駐輪場の即日撤去は見送ること

- 教育費** ◆修学旅行はシンガポールありきではなく検討すること◆私立学校の保護者に、給食費分を支給すること
国保会計 ◆1万人超の滞納者に寄り添い状況把握を
介護会計 ◆居宅介護事業施策を打ち出すこと
総括質問 ◆「港区平和都市宣言」は普遍的なものと思うがいかがか

港区れいわ新選組

- 歳入** ◆物価高騰対策◆財政調整基金を活用した支援
総務費 ◆風水害時の避難所関連◆備蓄食品の有効活用

- 民生費** ◆地域包括支援◆障害者グループホーム整備
土木費 ◆マンション居住実態調査
教育費 ◆生成 AI の利活用◆学校施設における換気対策

都民ファーストの会

- 民生費** ◆保育士待遇改善◆不適切保育◆一時保育・病児保育の利便性向上◆ひとり親家庭ホームヘルプサービスの拡充を◆屋内遊び場◆障害者雇用 B 型の賃金について
教育費 ◆幼稚園について◆学用品無償化◆奨学金の拡充
総括質問 ◆元麻布保育園

- 審査意見書** ◆監査の在り方について

- 総務費** ◆物品購入議案について
産業経済費 ◆商品券発行支援事業について
教育費 ◆学校施設利用団体への AED 講習について
総括質問 ◆意見の受け止めについて

小倉 りえこ

代表・一般質問

9月11・12日

※代表・一般質問は要約して掲載しています。詳しくは、右の
二次元コードを読み取り「動画配信」をご覧ください。



自民党議員団

こどもまんなか宣言について

Q. 児童相談所の課題と今後のビジョンについて

A. 一時保護所の定員超過の解消と関係機関との連携強化を図り、地域と一緒に児童虐待のない港区の実現に向けて取り組む。

Q. 夜間・休日の対応について

A. 電話相談専門員を24時間配置し、緊急時には、管理職、児童福祉司などが連携して対応しており、今後も継続していく。

Q. 専門職の増員予定について

A. 専門職については、国の基準を超える人員を配置しており、今後も適正な人員を確保していく。



公約の実現について

Q. 女性管理職割合50%の効果について

A. 管理職選考の女性受験割合や研修の女性受講割合を50%とし、女性管理職割合50%を目指す。

Q. 羽田新飛行経路の固定化回避について区長の考えは

A. 近隣区と連携し海上ルートや地方空港の活用等、経路の固定化回避の早期実現を国に強く求める。



公道カート届出制度について

Q. 制定する意義について

A. 公道を走行するカートの状況把握と、周辺環境への影響の検証が必要。渋谷区と情報交換し届出制度の効果や課題を共有する。

子ども議会の開催について

Q. 実現できる模擬会議について

A. 子どもたちが区政に関心を持ち、社会の一員であると実感できる貴重な機会であり、国内の先進的事例などを参考に、子どもの政策提言の仕組みを検討する。

国際教育について

Q. 真の国際人の育成について

A. 英語を話すことだけではなく、自国や他国の伝統や文化を理解し、広く国際社会で活躍できる人材の育成に努める。

選挙について

Q. 子どもへの教え方について

A. 区内全学校を対象に、投票するとの意義や制度の仕組み、選挙や投票に関する課題や判断力を育てるなどを重視し、教育委員会及び港区明るい選挙推進協議会と連携する。

Q. 共通投票所について

A. 共通投票所の安定運営を行い投票率を向上させ、確認作業等の簡素化や各投票所間のオンライン化等の改善、検証プロジェクトチームを設置し検討する。



区議会との対話について

Q. 区議会への情報提供のタイミングについて

A. 適切な情報提供を行い、趣旨の丁寧な説明や意思疎通が必要。速やかな情報提供と議論を深め区と区議会が両輪となって区政を推進する。

Q. 各部門の連携について

- A. こどもまんなか宣言に基づき、今後全部門が連携、共有し、議論しながら進める。全ての部門の関係者と話し合いながら全庁一丸で取り組む。

生活環境について

Q. 家庭用廃油回収拠点について

- A. エコプラザにおいて新たに油の回収を開始。衛生面や管理上の課題等を精査し回収場所拡大を検討する。



Q. 路上飲酒の禁止について

- A. 安全安心パトロール隊が路上飲酒を含め、公衆の迷惑と認められる行為を抑止・啓発する役割も担い、迷惑行為を確認した場合は口頭注意を行う。今後、路上飲酒・ごみの散乱などの継続散見時は、路上飲酒禁止も検討する。

Q. ネズミ対策について

- A. 区道の巣穴への殺そ剤投入や町会等補助金に加え、商店街も補助金対象とし、対策を周知等強化している。今後、近隣区の補助制度調査や効果的な対策を検討する。

Q. 隣地の枝葉切除について

- A. 空き地から竹林の枝葉等が区道上に張り出している場合、所有者に切除を依頼。民法の改正で緊急性の高い時等、区道に伸びた枝葉の切除が可能となったが、他自治体の取組事例を収集し検討する。

町会・自治会について

Q. 関係書類の簡略化について

- A. 支援の在り方や補助金制度について見直し申請に必要な書類の簡略化、負担軽減となるよう検討する。

Q. 町会・自治会の補助金について

- A. 物価高騰等社会情勢を考慮し、現補助金額が、地域活動に十分な金額か適宜見直す。地域コミュニティ検討委員会では、補助金制度

の見直しや支援の拡充を検討している。地域活動に十分な補助を検討する。

福祉・子育てについて

Q. 区民葬儀について

- A. 東京博善が令和7年度末で区民葬儀の取扱を止める。区民葬儀は特別区共通の制度。特別区として今後の方向性を決定。助成額等は今後検討。区は5区で臨海斎場を設置、民間火葬場より低額。今後、特別区にて火葬場の在り方を検討、国や東京都との協議を行う。

Q. 終活支援専門職の関わりについて

- A. 令和8年度から始まる終活支援について、連携して取り組んでいただける専門職の範囲や役割などの整理をすすめる。

Q. 成年後見人等報酬助成の対象拡大について

- A. 所得や資産の状況にかかわらず成年後見制度を利用できる環境を整える観点から、報酬助成の対象となる専門職を広く捉える方向で検討する。

土業相談への費用助成について

Q. 土業相談への費用助成について

- A. 相続や不動産取引など、弁護士等の専門的な指導助言の無料相談を実施し、さらなる費用助成について調査・研究する。

防災・防犯について

Q. 防犯カメラ設置補助について

- A. 防犯カメラに対し、運用・維持管理も含めた費用補助を実施している。補助上限上乗せを含め、防犯カメラ設置団体への負担軽減し、適切な補助内容へ改善する。



Q. 職員の救命講習受講について

- A. 救命に関する基礎知識を学ぶカリキュラムやAED使用方法等の講習会を開催し、新規採用職員を含め機会を定期的に確保する。



Q. 国民保護に関する区民への周知について

- A. 区ホームページへの掲載やチラシの配布など、武力攻撃等が発生した際の対応手順や、緊急情報の伝達方法などを周知し、イベント会場での資料の提供等の効果的な情報提供の手段を検討する。

教育について

Q. 見守り端末貸与事業について

- A. 端末は、希望する児童に貸出し取扱指導や、卒業時の返却方法など、各校と連携し進めている。私立学校には、安全管理に関する取組方針や実態について把握する。

みなと未来会議

議会の透明性確保について

Q. 明文化されていない議会内ルールも分かりやすく説明すべきではないか

- A. 区民への説明は大変重要と捉えている。分かりやすく伝える方法について各会派と検討していく。

行政計画の見直しについて

Q. 行政計画は作った後からが大事だが、計画策定や改定に追われる現状を見直してはどうか

- A. 積極的に計画の整理、統合に取り組むなどして、計画数の削減を図る。

人権について

Q. ハンセン病問題に学ぶ差別防止への取組を学校等で行うべきではないか

- A. 教員対象の人権研修を通じて人権課題として取り上げ、校内での指導方法について検討する。

不動産の投機的取引に伴う地価高騰について

- Q. 投機的取引による地価の高騰で、区民生活に影響を与えており、港区も情報を収集すべき
A. 国の調査状況も踏まえ、区も調査を検討する。

火葬費用について

- Q. 火葬は公共性が高い重要な住民サービス。今後コスト増が火葬費用の増になるか、区の見解は
A. 臨海斎場の火葬費用は経常経費のみで算出。民間火葬場より低額。算定は公平性の観点から適正な利用者負担を組織区で協議、決定。今後も火葬は公共性が高い重要な住民サービスという視点を重視し組織区と協議・決定する。

子育て支援について

- Q. 障がい児支援に関する所得制限については、見直すべきでは
A. 現時点では区独自の所得制限撤廃は予定しないが、独自サービスの充実に取り組む。

環境について

- Q. 暑さ対策について
A. クーリングシェルターを増設し、緑陰の有用性を含めた情報発信など熱中症対策を強化する。



介護離職防止について

- Q. 港区の取組について
A. 区の実態を把握し支援の充実につなげていく。

男性も相談しやすい環境について

- Q. 産後うつや性被害等に苦しむ男性が、相談できる窓口が必要ではないか
A. 区の広報等を見直して、男性も対象であることを周知する。

区ホームページのリニューアルについて

- Q. 検索機能の不備は早急に改善を。リニューアルで目指した点は
A. 利便性の高いホームページを目指した。検索性の向上は引き続きの課題で、生成AIなどの手法を検討している。

区民の声を効果的に集める工夫について

- Q. アンケートの回収率を高めるために、みなトクPAYポイントの付与などインセンティブの導入を
A. みなトクPAYの活用など、効果的な広聴手法の導入を検討する。

骨髓移植ドナーの支援について

- Q. 骨髓バンク登録ドナーに限らず、血縁ドナーにも支援を
A. 幅広く情報収集し研究する。

血縁ドナーへの支援

骨髓バンク登録の有無にかかわらず
血縁ドナーにも支援を



小規模多機能型居宅介護施設について

- Q. 魅力の周知と積極的な誘致を
A. 周知を強化するとともに新たな施設整備はニーズを踏まえ検討する。

終活支援について

- Q. エンディングノートにとどまらず家財整理やリサイクルなど、総合的な終活支援へ
A. お困りごとに即した必要な支援策についても検討する。



低廉な住宅への住み替え支援を

- Q. 低廉な物件が減り住み替えを迫られた区民が区内に住み続けるのが困難な状況。寄り添った支援を
A. 居住支援協議会や居住支援法人と連携し、きめ細かく支援している。

少子化対策について

- Q. 全庁的に取り組む姿勢が示されたが令和8年度以降も継続するか
A. 一過性ではなく中長期的な視点で全庁を挙げて取り組んでいく。

子育て世帯へのみなトクPAYポイント付与事業について

- Q. 臨時事業ではなく恒久事業として制度化するつもりはあるか
A. 子育て世帯への経済的な負担軽減策について検討していく。

プレコンセプションケア*1について

- Q. 情報発信・啓蒙活動・対策をより積極的に行っていくべき
A. 関心度の低い若い世代へも届くよう総合的な拡充を進める。

ふるさと納税返礼品拡充について

- Q. みなトクPAYの活用や旅先納税も視野に入れ拡充を進めるべき
A. 拡充を進めており、みなトクPAYの活用は実施に向けて調整中。

小学校のキャパシティについて

- Q. 推計よりも児童数が上振れた場合の学習環境の確保策について
A. 新設したプロジェクトチームで、学習環境の充実を進めていく。

効果的な共通投票所の拡充を

- Q. 区民が出先で便利に投票できる場所に共通投票所の設置を
A. 共通投票所拡大に向け投票所間のオンライン連携等検討を進める。



*1 プレコンセプションケア：性や妊娠に関する正しい知識を身に付け、健康管理を行うよう促すこと。

○○港区保守系議員団○○

ハラスメント防止について

- Q. 従来の座学による講義型の知識提供型研修では限界がある現状において、行動変容型研修なども取り入れながらしていくべきだと考えるが、働きやすい環境づくりのための今後の取組は
- A. 自己チェックシートや多面的評価制度の導入、行動変容型のハラスメント防止研修を検討し、誰もが安心して働くことができる職場づくりに取り組んでいく。



子どもの権利擁護について

- Q. 民法改正により、共同親権を選択できるようになることで、共同養育を望む家庭の増加が見込まれるが、改正民法の施行前から、共同養育をめぐる課題や可能性、そして何よりも子どもの最善の利益を守る観点から、区も学びを深め準備を進めていくべきでは
- A. 国や他自治体、海外のモデル事例などを参考に、共同養育において、子どもの権利を最優先に守る対応力の強化に努めていく。
- Q. 子どもの安定した家庭環境が守られ、安心感や健やかな成長に繋げるためにも、離婚前の修復が可能な段階での支援として、カウンセリングやファシリテーション^{*2}など関係修復支援が必要では
- A. 子どもの権利の視点に立ち、家庭問題を抱えている夫婦が関係を改善できるようさまざまな支援を充実していく。

要介護高齢者支援について

- Q. 今後要介護高齢者の増加が見込まれており、現状の入所施設だけでは不足が懸念されるが、入所待機解消に向けて、これから施設整備の進め方は

- A. 区内用地の新規取得が困難な状況もあり、民間施設などとの連携も視野に検討し、多角的な視点で検討を進める。

スクールドッグの導入について

- Q. 児童・生徒の安心感や居場所づくり、学習意欲を高めると共に、不登校支援や特別支援教育の充実に生かすためにもスクールドッグの導入を検討してはいかがか

- A. 不安や緊張を和らげ学習への集中力を高める効果やストレス軽減、情緒を安定させる効果などがあることから、安心して学校生活を送ることができる方策の一つであると考えており、学びの多様化学校において月1回導入し心の安定につながる教育的効果や安全対策などについて検証していき、本検証をもとに小・中学校における導入拡大について検討を進める。



核と平和都市宣言について

- Q. 港区の平和都市宣言には「非核三原則の堅持」と「核兵器廃絶」がうたわれているが、核兵器の放棄と引き換えにロシアから安全を保証されたウクライナが、ロシアから核で恫喝され、蹂躪されている現実をみると、核を持たないことを宣言するだけでは無意味であることが証明されたと考える。平和都市宣言を生きた核抑止力とするためには、原爆資料館を見学した外国人の75%が「核兵器の使用は正当化できない」と答えていることから、被爆国として核保有国の国民に対し、核兵器は無抵抗の一般市民を対象とする正当化できない「戦争犯罪」であることと、核の悲惨さを伝えることが大切だと考える。区長の考えを伺う

- A. 平和都市宣言の理念の下に実施する区の取組を核保有国の方々にも見ていただけるよう、核保有国の大天使館やインターナショナルスクールにも伝えていく。

災害時の体制構築について

- Q. 災害時の避難所運営を行う職員を確保するために、職務住宅の建設を進めるべきではないか
- A. 区有地を活用した住宅の整備を進めていく。
- Q. 震災時マンション住民は7日間の自宅生活が求められているが、アウトドアメーカーなどと協力して不自由な環境を楽しむ「マンションキャンプ」を提案したい
- A. 防災を楽しむという視点を取り入れよう検討していく。



○○公明党議員団○○

マンション防災の取組促進を

- Q. 区内マンションを分類し、効果的に取組の促進を図るべき
- A. 分譲マンション実態調査で得られたデータを先行して活用し、より実効的な支援策を検討する。

町会・自治会の活動拠点の整備を

- Q. 会館を持たない町会の実情に合わせた活動拠点の必要性を伺う
- A. 開発の事業者に要請強化、効果的支援策を検討する。

デコ活^{*3}宣言の登録について

- Q. デコ活宣言に登録し、国との連携を強めるべき
- A. 令和8年度の新たな港区環境基本計画の策定に向けて検討する。

自治体連携を活用し障がい者支援を

- Q. 他自治体の資源を活用した就労支援なども検討すべき
- A. 希望者には他自治体の事例を紹介し、連携手法については調査・研究していく。

*2 ファシリテーション：会議やイベント、プロジェクトなどを円滑に進めるための手法のこと。

*3 デコ活：脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動のこと。

こども誰でも通園制度の充実を

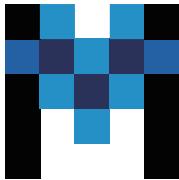
- Q. 国が令和8年度に本格実施する。区もこれまで以上に充実を図るべき
A. 全ての子どもの育ちを支援できるよう積極的に取り組む。

HPV検査の公的検診導入について

- Q. HPV検査単独法を区の健診に導入することについて伺う
A. 専門医の意見を伺い、課題解決に取り組んでいく。

継続的な行動変容の促進について

- Q. みなトク PAYを活用し、健康・環境・地域参加など多分野にわたる施策を庁内横断で行うべき
A. 全庁を挙げて取り組む。



みんなのりと地域交通手段の確保を

- Q. 10月以降の実証運行継続とみんなのりを参考とした今後の地域交通手段の確保を検討すべき
A. 令和8年3月までみんなのりの延長を確認した。自動運転タクシーなどの検証や他自治体の事例も含めて調査し検討していく。

区立学校の水泳学習の機会均等を

- Q. プールの設置が屋内外の違いによって学習機会にばらつきがないように工夫すべき
A. 令和8年度の夏季水泳指導を屋内プールのある学校で実施ができるよう検討を進めている。



小学校低学年の不登校支援強化を

- Q. 支援体制の強化について今後の方針を伺う
A. 校内別室の拡大やメタバースの構築などの検討を進める。

日本語が不自由な子どもへの支援強化について

- Q. 日本語学級の通級支援強化や、送迎困難な家庭へ配慮をすべき
A. 現状をより正確に把握し、日本語指導の環境を充実していく。

命の大切さから学ぶ性教育と人権教育の体系化について

- Q. 他自治体の選考事例を踏まえ再構築していくべき
A. 人権教育推進委員会でカリキュラムを作成している。

町会・自治会のチラシの電子化を

- Q. 区民利便性向上へ実施すべき
A. チラシをPDFなどに変換し、区ホームページに掲載し支援する

安全・安心な共生社会構築について

- Q. 日本人と外国人がお互いルールを守ることができるように支援を
A. 文化習慣の理解を深める機会創出や区の調査など取組につなげる。



予防医療推進へ検診受診率向上を

- Q. みなトク PAYを活用すべき
A. 効果的な手法導入を検討する。

立憲民主党議員団

学童クラブ等の直接一般来館制度の利用時間拡大について

- Q. 夏休み等の長期休みは、直接一般来館制度を利用している児童は、一般来館となるため、受け入れ時間が遅く保護者の就労時間に対応できていない。ひとりで留守番している児童が安全で安心できる場所を早急に整備すべき
A. 子どもたちを安全に受け入れられるよう職員体制を拡充することが必要。各施設と相談し、提供について検討していく。



ひとり親世帯への子どもたちの支援について

- Q. 児童扶養手当受給世帯を対象にし、「NPO法人みなど子ども食堂の生活実態調査」では、夏休みは73%の世帯がどこにもいかないと回答している。多様な学びと体験の機会を充実させるためにも区の支援が必要である
A. 支援が必要なひとり親家庭の意見を把握しながら、体験機会の提供に積極的に取り組んでいく。

保護者負担軽減を

- Q. 中学校の制服代等は平均で7万円を超える。公費負担にするなど、保護者への負担軽減を進めていくべき
A. 区立小・中学校の標準服などの負担を軽減する効果的な手法を検討していく。



Q. みなとク PAY の活用など区立・私立区別なく対象や目的を明確にし、経常的な支援の在り方について検討を

A. 経済的な支援の在り方についてさまざまな角度から検討していく。

共産党議員団

「麻布米軍ヘリポート基地」の撤去を求ることについて

Q. 地域住民一人一人の声を集めるアンケート等に取り組むこと

A. 区民へのヒアリングを令和7年度中に実施する予定。

Q. 「住民の声を聞く会」の開催を検討すること

A. 「住民の声を聞く会」の開催は国に対し意向を伝える。



「麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会」提供

公契約条例について

Q. 令和7年度内に条例制定を行うこと

A. 令和8年第1回港区議会定例会への条例案提出に向け進める。

シルバーパスについて

Q. 自己負担千円で購入できるよう差額分は区が補助すること

A. 実施主体である東京都が検討し決定すべきもので、購入補助を独自に行うことは考えていない。

「こどもまんなか宣言」ポイント付与事業について

Q. 子どもの有無にかかわらず区民全体を対象に取り組むこと

A. 付与事業の対象者を拡大することは考えていない。

港区こどもまんなか宣言

- 1 児童虐待のない港区を実現します。
- 2 すべての子どもを尊重され、安全・安心が守られる港区を実現します。
- 3 子ども一人ひとりの声を尊重する港区を実現します。
- 4 すべての子どもが健やかに成長できる港区を実現します。



シンガポール修学旅行について

Q. 区民の税金がこの事業に使われていることから、区民の意見を聞くこと

A. 区民へのアンケート調査は予定していないが、情報発信することで理解を得られるよう努める。

「神宮外苑」再開発について

Q. 都民、区民を無視した市街地再開発事業を容認するのか

A. 区民の理解と丁寧な説明に努めるとともに、意見や要望に可能な限り対応するよう、事業者に指導する。

港区れいわ新選組

教員の業務負荷軽減について

Q. 教員の勤務実態把握が必要だと考えるが

A. 管理職が教室を見回るなど、教員と課題を共有し、指導を行う。

Q. 区が独自に職員を拡充すべき

A. 教科担任制向けの区費講師を全小学校に配置するなど、独自の職員配置で教員の負担軽減に努める。

Q. 教員の支援体制の構築、強化について

A. 医師面談の実施、学校閉庁期間の設置等、職場環境改善を行う。

学校施設での暑さ対策について

Q. 断熱改修と全熱交換器の導入について

A. 大規模改修工事や新築工事の機会を捉えて実施していく。

Q. 快適な学習環境について

A. ウォータークーラーの設置、水分補給の指導等、対応を進めていく。

都民ファーストの会

投機目的でのマンション取引等の実態調査について

Q. 投機の状況調査を実施し、必要な対策を講じるべき

A. 国の調査状況を踏まえ、区も調査を検討する。

中小企業における 熱中症対策への支援について

Q. 中小企業に対して、熱中症対策に関する支援を実施していくべき

A. 事業者の実情を把握していくとともに、他自治体の事例を調査・研究する。



【各会派の連絡先】

不在の場合は、区議会事務局へ

電話 03-3578-2911

自民党議員団

電話 03-3578-2927

FAX 03-3578-2909

みなと未来会議

電話 03-3578-2948

FAX 03-3578-2854

港区保守系議員団

電話 03-3578-2960

FAX 03-3578-2936

公明党議員団

電話 03-3578-2935

FAX 03-3578-2937

立憲民主党議員団

電話 03-3578-2938

FAX 03-3578-2949

共産党議員団

電話 03-3578-2945

FAX 03-3578-2947

港区れいわ新選組

電話 03-3578-2961

都民ファーストの会

電話 03-3578-3220

小倉 りえこ

電話 03-3578-3210

常任委員会の活動記録



※議案は概要のみ掲載しています。
詳しくは、左の二次元コードを
読み取り「議案」をご覧ください。

●議案名、概要 ○主な質疑

総務

- 区長報告第7号 専決処分について
港区立赤羽小学校グラウンド整備及び
港区立赤羽幼稚園等新築工事請負契約
の変更

- 地中障害物が発見された経緯
○隣接地土地所有者との通路部分の使用

- 区長報告第8号 専決処分について
清掃車の交通事故の損害賠償額の決定
○事実が立証できるような対策の検討
○近年の清掃車の事故件数

- 議案第90号 令和7年度港区一般会
計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ26億2,276万5千
円を追加し、総額をそれぞれ2,086億
7,009万3千円とする
○港区こどもまんなか宣言とみなトクPAY
ポイント付与の関連性
○児童虐待防止に向けた港区こどもまん
なか宣言の周知徹底

- 議案第91号 令和7年度港区介護保
険会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ6億4,873万5千円を
追加し、総額をそれぞれ199億343万9
千円とする

- 議案第96号 工事請負契約の承認に
ついて

港区立箱根ニコニコ高原学園大規模改
修工事について、工事請負契約の承認を
求める

- 議案第97号 工事請負契約の承認に
ついて

港区立箱根ニコニコ高原学園大規模改
修に伴う電気設備工事について、工事請
負契約の承認を求める

- 省エネ性能の向上
○工期を短縮する工夫

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇港区政80周年記念事業の実施
◇令和8年度包括外部監査人の募集



総務常任委員会の様子

保健福祉

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇港区立白金台いきいきプラザ等大規模
改修工事
◇港区保健福祉基礎調査の実施



保健福祉常任委員会の様子

建設

- 議案第89号 港区低炭素まちづくり計
画の駐車機能集約区域内における建築
物の駐車施設の附置等に関する条例の
一部を改正する条例

港区低炭素まちづくり計画の改定に伴い、
新たな駐車機能集約区域を追加する

- これからの駐車場の種類の主流
○策定協議会での議論の概要

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇赤羽橋駅周辺の放置自転車対策
◇令和6年度道路構造物等の総点検の結
果と対応状況



建設常任委員会の様子



都道目黒通り視察の様子

区民文教

閉会中の委員会活動

◆主な報告事項

- ◇マイナポータルを活用した予約レーンの試行導入
- ◇臨海斎場の使用料



区民文教常任委員会の様子



特別委員会の活動記録

閉会中の委員会活動

●DX推進・行財政等対策

◆主な報告事項

- ◇令和6年度特別区税決算見込額
- ◇「将来に向けた持続可能な区役所」への改革の取組

●環境等対策

◆主な報告事項

- ◇「三田五丁目西地区市街地再開発事業」環境影響調査書案

●海外修学旅行調査

◆主な報告事項

- ◇令和7年度海外修学旅行の中間報告等



区議会の情報をご覧ください

港区議会では、「みなと区議会だより」のほか、ホームページでの動画配信（ライブ配信・録画中継）、フェイスブックなどを活用して、区議会のさまざまな情報をお届けしています。ぜひ、区議会の情報をご覧ください。

動画配信

本会議及び予算・決算特別委員会の様子を、インターネットでライブ配信・録画配信しています。録画配信は、お好きな時間にパソコンやスマートフォン等でご覧いただけます。また、本会議での議員の代表・一般質問及び区長の施政方針・所信表明の映像では、手話通訳映像及び字幕もあわせてご覧いただけます。



フェイスブック

会議のお知らせや、さまざまな活動について情報発信しています。皆さんからの「いいね！」をお待ちしています。



議案等の審議結果

		各会派の態度										○…賛成	×…反対
		議自 員民 団党	未み 来な 会議と	議港 区員 保守 団系	議公 員明 主団 党	議立 憲民 主団 党	議共 員産 団党	新港 区選 れい 組わ	都民 ストの アソ ー会	小倉 りえ こ		議 決 結 果	
区長報告 第7号	令和7年第3回定例会 案件名 専決処分について (港区立赤羽小学校グラウンド整備及び港区立赤羽幼稚園等新築工事請負契約の変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
区長報告 第8号	専決処分について(損害賠償額の決定)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認	
議案 第89号	港区低炭素まちづくり計画の駐車機能集約区域内における建築物の駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第90号	令和7年度港区一般会計補正予算(第3号) ●歳入歳出それぞれ 26 億 2,276 万 5 千円を追加し、総額をそれぞれ 2,086 億 7,009 万 3 千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第91号	令和7年度港区介護保険会計補正予算(第1号) ●歳入歳出それぞれ 6 億 4,873 万 5 千円を追加し、総額をそれぞれ 199 億 343 万 9 千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第92号	令和6年度港区一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
議案 第93号	令和6年度港区国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
議案 第94号	令和6年度港区後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
議案 第95号	令和6年度港区介護保険会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	認定	
議案 第96号	工事請負契約の承認について (港区立箱根ニコニコ高原学園大規模改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第97号	工事請負契約の承認について (港区立箱根ニコニコ高原学園大規模改修に伴う電気設備工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第98号	物品の購入について(区民避難所用炊き出し器等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第99号	物品の購入について(港区立郷土歴史館防犯カメラ等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案 第100号	港区副区長の選任の同意について(浦田 幹男君)	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○	同意	
議案 第101号	港区教育委員会教育長の任命の同意について(新宮 弘章君)	○	○	○	○	○	○	退席	○	○	○	同意	
請願7 第8号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択	
請願7 第9号	港区平和都市宣言40周年に関する請願	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	不採択	
請願7 第10号	都道目黒通りの街路樹再整備に関する請願	×	○	×	×	○	○	○	○	×	×	不採択	
発案7 第4号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	

継続審査とした案件

区長提出案件

○港区長の在任期間に関する条例（令和7年2月19日提出）

皆さんから提出された請願

【審議した委員会】

総=総務常任委員会

建=建設常任委員会

保=保健福祉常任委員会

区=区民文教常任委員会

環=環境等対策特別委員会

採択とした請願

総 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する請願（令和7年9月12日受理）

不採択とした請願

総 港区平和都市宣言40周年に関する請願（令和7年9月12日受理）

建 都道目黒通りの街路樹再整備に関する請願（令和7年9月12日受理）

継続審査とした請願

環 羽田都心飛行ルートはやめ、従来の海上ルートに戻すよう国に求める請願（令和5年6月22日受理）

保 兄弟姉妹を同保育園に入園できるような制度改善に関する請願（令和5年9月12日受理）

区 都営住宅の自治会申請における設立同意書に関する請願（令和6年7月18日受理）

総 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する請願（令和6年11月28日受理）

建 「(仮称) 港区三田五丁目計画」に関する請願（令和6年11月28日受理）

総 防災士資格取得費用助成に関する請願（令和7年2月25日受理）

総 「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書」採択に関する請願（令和7年2月25日受理）

総 旧姓の通称使用を拡充し、第5次男女共同参画基本計画に沿った政策の推進を求める意見書の提出を求める請願（令和7年2月25日受理）

保 成年後見制度における区長申立に関する請願（令和7年2月25日受理）

区 区立本村幼稚園に関する請願（令和7年2月25日受理）

意見書を提出しました

●固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続を求める意見書

我が国の経済は、緩やかに回復しているものの、今後長期にわたって生産年齢人口が減少していく状況に加え、米国の通商政策や物価高騰等の影響が、経済成長への制約となることが懸念されており、区内の小規模事業者を取り巻く環境は、依然として予断を許さない状況にあります。

こうした中、東京都が実施している「小規模住宅用地に対する都市計画税軽減措置」「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税減免措置」及び「商業地等における固定資産税・都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置」は、未だ厳しい経営環境にある小規模事業者にとっても、事業の継続や経営の健全化への大きな支えとなっています。

東京都がこれらの軽減措置を廃止すれば、小規模事業者の経済的・心理的負担は極めて大きく、景気に与える影響が強く危惧されます。

よって、港区議会は東京都に対し、下記の事項について強く要望するものであります。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置を、令和8年度以後も継続すること。
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置を令和8年度以後も継続すること。
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を令和8年度以後も継続すること。

東京都知事 あて

お見舞い

パキスタン・イスラム共和国では、令和7年6月下旬から続く大雨の影響により各地で大規模な洪水が相次いで発生しており、多数の死傷者及び被災者が発生する甚大な被害が出ています。

令和7年10月24日に港区議会議長及び港区長が駐日パキスタン・イスラム共和国大使館のアブドゥル・ハミード次期大使を訪問し、港区民を代表して、心からのお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復興を祈る気持ちをお伝えしました。また、お見舞金をお送りしました。

(左から)土屋準議長、
アブドゥル・ハミード次期大使、
清家愛区長



熊本県熊本市では、令和7年8月10日から続いた記録的な大雨により、住宅の浸水など甚大な被害が発生しました。港区議会は、港区とともに書中にて被災者の皆様へ心からのお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を願い、熊本市へお見舞金をお送りしました。

議会人事の動き

議員の連絡先の変更

小倉 りえこ
港区芝公園 1-5-25
議会棟 2階 小倉 りえこ控室
電話番号: 03-3578-3210

福島 宏子
港区芝公園 1-5-25
議会棟 2階 共産党議員団控室
電話番号: 03-3578-2945

土屋 準
港区浜松町 1-20-10-702

風見 利男
港区芝公園 1-5-25
議会棟 2階 共産党議員団控室
電話番号: 03-3578-2945

会派結成及び会派所属議員の異動

令和7年9月5日付で新会派『小倉 りえこ』が結成され、小倉りえこ議員が所属会派『自民党議員団』から『小倉 りえこ』へ異動しました。

議席番号の変更

次のとおり、議席番号を変更しました。

議席番号 4	琴尾 みさと
議席番号 5	さいき 陽平
議席番号 7	小倉 りえこ
議席番号 8	三田 あきら
議席番号 11	欠員
議席番号 14	ませ のりよし



- ◆この「区議会だより」は、新聞折り込みのほか、区の主な施設の窓口にも置いてあります。また、郵便局、公衆浴場、東京メトロ8駅、JR(品川・高輪ゲートウェイ・田町・浜松町・新橋)5駅、ゆりかもめ5駅などに置いてあります。
- ◆個別送付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。
- ◆「区議会だより点字版」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。「声の区議会だより」はホームページにも掲載しています。
- 【申し込み・問い合わせ】
区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

あとがき

令和7年第4回定例会は11月下旬に開会する予定です。

編集委員

副議長 玉木まこと とよ島くにひろ
ませのりよし 池田たけし
石渡ゆきこ